

臨床研究に関する情報公開および研究協力へのお願い

2010年1月1日から2021年12月31日までの期間に、
原発性肺癌に対して手術治療を受けた患者さんは以下をご覧ください。

【研究課題名】多施設データベースを用いた、原発性肺癌切除後予後解析についての研究

【研究期間】倫理委員会の承認日から2027年4月4日まで

【研究責任者】京都大学呼吸器外科 教授 伊達洋至

【研究機関】京都大学医学部附属病院、天理よろず相談所病院、北野病院、国立病院機構長良医療センター、大津赤十字病院、京都桂病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、大阪赤十字病院、京都市立病院、日本赤十字社和歌山医療センター、倉敷中央病院、聖路加国際病院、福井赤十字病院、滋賀県立総合病院、西神戸医療センター

【研究目的と意義】手術は原発性肺癌に対する治療法として重要な位置を占めています。最近、新しい機器や手術法が導入されることによって肺癌に対する手術は進歩してきています。それだけでなく、新しい抗がん剤の開発などによって手術以外の治療法も進歩しています。しかし、このような治療法の変化が本当に肺癌手術後の成績を向上させるものかどうかを調べるには、多数の患者さんのデータを解析する必要があります。

【研究の方法】2010年1月1日から2021年12月31日までの期間に原発性肺癌に対して手術治療を受けた患者さんを対象とします。研究の方法として、過去の診療記録(電子カルテ)から、年齢、性別、術前病期、併存疾患、病理組織型、再発の有無、生死などの情報を抽出し、解析します。新たに患者さんに検査や経済的負担をいただくことはございません。福井赤十字病院倫理委員会審査、病院長の許可を受け、福井赤十字病院もこの研究に参加しています。

【個人情報の保護】収集したデータは匿名化した上で京都大学医学部附属病院に送って解析します。この研究の全ての過程は、国が定めた倫理指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」「個人情報保護に関する法律」を遵守し、秘密保護に十分配慮し、本研究の研究責任者が個人情報を厳重に保護します。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】本研究は患者さんの過去のデータを利用するだけです。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」によると特に文書で同意をいただく手続きが必要ないとされており、しかしご自身の情報を使用されたくない患者さんもおられるかと思えます。その場合は研究に含めませんのでお知らせ下さい。

研究への協力を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記の担当医師までお知らせください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータを分からない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

【問い合わせ先】

氏名：山岸弘哉（福井赤十字病院 呼吸器外科）

住所：〒918-8501 福井県福井市月見 2-4-1

電話：0776-36-3630 FAX：0776-36-4133